



泉小だより

清美
校訓

学校教育目標 心豊かでたくましい子 ○深く考える子 ○がんばりぬく子 ○助け合うやさしい子

ランランフェスティバル・ランランウィークを終えて

校長 小笠原 俊範

12月11日（木）にランランフェスティバル（校内持久走大会）を行いました。たくさんの保護者、地域の方、保育園児からの応援を受け、子どもたちは、力一杯走ることができました。また、がんばって走っている子を応援する姿もありました。苦しいことや苦手なことにも粘り強く取り組む姿、人のがんばりを応援する子どもたちの姿を見て、とてもうれしかったです。

ある日、ある学級の体育の授業のことです。持久走の練習で、学級でトラックを走りました。早くゴールできた子たちは、運動場に座って疲れた体を休めています。ほとんどの子がゴールした後のことです。「がんばれ！ がんばれ！」とゴールした子たちから、自然発的にコール、手拍子が生まれました。まだ、ゴールを目指して走っている子がいたのです。走っている子は、最後まで力一杯走りきりました。ゴールすると拍手が起きました。私は、その光景を目にして、とてもうれしく、心があたたかくなりました。まさに、令和7年度 泉小学校スローガン「ともに学び合い、ともに高め合う」姿を子どもたちが表現していると感じました。



持久走への取組だけではなく、私たち教職員は、日頃から、子どもたちに「ほめること」と「認める」とをバランスよく、適時に言葉がけができるよう意識して取り組んでいます。

○「ほめる」とは、子どものよい点、上げた成果、成長したところについて、子どもを肯定的に評価し、子どもに伝えることです。

具体的には、「すごいね」「すばらしいね」「上手だね」などがあります。研究による「ほめる」ことの効果は、「やる気が出る」「我慢強くなる」「前向きになる」「ストレスに強くなる」「考え方や想像力により影響を与える」などが報告されています。

○「認める」とは、子どもへの評価を含まず、子どもの結果や成果に左右されず、子どもの事実や存在をそのままを子どもに伝えることです。

子どもを日頃からきちんとみて、その子どもへの理解がないと「認める」ことはできません。具体的には、「毎時間、授業の用意をきちんとして、休み時間を過ごしているね」「いつも笑顔で生活しているね」「マラソン、最後まで走りきったね」「嫌な言葉を使わなくなったね」などです。

子どもを「ほめて育てる」ことは、とても大切です。しかし、ただ「ほめていればよい」というわけではないと思います。私たち教職員は、どの子どもに対しても「ほめる」評価、「認める」言葉がけをバランスよく行うよう心がけています。今後も、子どもたちの成長を支えていけるよう、機を逃さず、子どもたちに働きかけを行っていきたいです。

— 焼き芋集会 —

12月15日（月）に、焼き芋集会を行いました。子どもたちは、朝の登校後に芋を水洗いし、新聞で包み、水に浸し、アルミホイルで包み、準備をしました。芋を焼いてくださったのは、泉シニアクラブ、泉消防団の方々です。子どもたちが、焼き芋を食べたのは、給食後の昼休みの時間でしたが、「おいしい」「もっと食べたい」という声があちこちで聞かれ、2つ、3つと食べる子もいました。全校の子どもたち、教職員、地域の方みんなに笑顔が溢れ、幸せな時間を過ごすことができました。



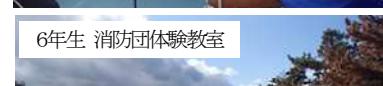
3年生 スーパーマーケット見学



4年生
筆づくり
体験教室



5年生
トヨタ工場
見学



— 地域の方々に支えられています —

12月の焼き芋集会の日に、泉シニアクラブと泉消防団の約20名の方々に、各教室で子どもたちと一緒に会食をしていただきました。子どもたちは、地域の方々とふれあい、楽しい給食の時間を過ごしました。

また、5月以降、毎週コミュニティ・スクールの仕組みを活用し、ご協力いただける地域の方々にお集まりいただき、教職員とともに校内の環境整備作業を行っています。12月は、軒下への鳩の侵入の防御対策、プールサイドの枯れ草の除草、破れたカーテンの補修、伐採した樹木の片付け、焼き芋用の穴の準備・片付け、大時計の清掃・補修、サッカーゴールの設置、保健室ロッカーの移動などを行いました（詳細は「泉小ブログ」をご参照ください）。泉小学校は、地域の皆様に支えられていると感じています。心より感謝申し上げます。

